

I 令和3年度 事業報告書

1 事業の概要

概況

当協会は、水戸市国際交流センターを拠点とし、国際交流の中核組織として他の国際交流団体等と連携を図りながら、地域における国際交流活動を推進することを目的として平成7年3月に設立され、市民、関係団体、行政等との連携を図りながら、多様化する国際交流に対応するための様々な事業を展開してまいりました。

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、運営や事業の実施に多大なる制約を受けました。そのような状況の中、前年度に友好交流都市提携20周年を迎えた重慶市との交流事業を引き続き実施したほか、国際交流団体等の活動への支援や外国人市民への支援に重点を置くとともに、地域住民と外国人市民との交流の場の創出や各国の文化への理解を深めるための国際理解講座等の開催、多文化共生を中心とした事業の展開に努めてまいりました。

また、水戸市から指定管理者の指定を受けている国際交流センターの適切な管理運営と公益法人にふさわしい事業の展開と組織運営に努めました。

(1) 海外諸都市との国際交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、訪問団等の派遣及び受入事業については、中止といたしました。

ア 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流

- (ア) アナハイム市からの親善訪問団の受入 (中止)
- (イ) 水戸市学生親善大使の派遣 (中止)
- (ウ) アナハイム市学生親善大使の受入 (中止)

イ 友好交流都市重慶市との交流

- (ア) 重慶市親善訪問団の派遣 (中止)
- (イ) 重慶市訪問団の受入 (中止)
- (ウ) 重慶市青少年交流事業 (中止)

(2) 市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティア団体等の活動が円滑に行えるように支援するとともに、市民に対し、団体等の交流活動の紹介や講演会等を通して、国際理解を深める啓発事業を行いました。

ア 国際交流のつどいの開催

市民の国際理解の推進を図るため、水戸市及び近隣在住の外国人市民をゲストとして招き、世界各国の文化等を紹介すると同時に、地域内国際交流を促進する事業を実施した。

(ア) イベント「水戸で“プチ世界旅行”2022」の開催

期 日：令和4年3月6日(日)

ゲ ス ト：安島チン(ベトナム)

ジュイジョンラック・スナンター(タイ)

コートニー・プール(カナダ)

内 容：各ゲストによる各国体験ブースを巡るツアーを行い、各国の文化に理解を深めるとともに、交流を行った。

参加者数：29人

イ 国際交流団体活動紹介展

水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。展示期間中には、「イベントデー」と称し、国際協力のためのグッズ紹介や、各団体のスタッフによる活動説明コーナーを開催した。

期 間：[第1期] 令和3年4月10日(土)～5月23日(日)

[第2期] 令和3年6月12日(土)～7月11日(日)

[第3期] 令和3年9月4日(土)～10月3日(日)

[第4期] 令和3年11月6日(土)～12月12日(日)

参加団体：16団体

ウ 国際交流団体連絡会議

ボランティア団体間の情報交換やセンター利用等をテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが、今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応した。

エ 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援：MIJ ネットワーク支援

水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク(通称：MIJ ネットワーク)」の活動を支援した。

(ア) 定例会

期 日：毎月1回(8月を除く。)

内 容：教室運営状況の報告、意見・情報交換等

(イ) 研修会

期 日：令和4年3月5日(土)

内 容：「漢字学習」をテーマに、ボランティア活動で活用できる漢字指導の方法を学んだほか、グループワークを通じてボランティア同士の交流を行った。

講 師：御子神 慶子、斉藤 里佳、新庄 あいみ(一般財団法人ダイバーシティ研究所「生活の漢字をかんがえる会」)

参加者数：17人(MIJ ネットワーク会員13人、一般4人)

(ウ) 日本語ボランティアレベルアップ講座

期 日：令和3年10月16日・30日、11月13日・27日、12月11日(全5回)

共 催：公益財団法人茨城県国際交流協会

内 容：中級レベルの日本語学習者に対する日本語支援方法や必要な知識を学んだ。

講 師：小林 かおり(茨城県国際交流協会日本語教育アドバイザー)

参加者数：18人

(3) 国際交流に関する講演・講座・研修等の実施

市民に国際交流及び世界の文化等について理解を深めてもらうため、各種講座を実施するとともに、国籍を越えた市民同士の交流の場の創出に努めました。また、国際理解を促すため、市内の高校に外国人市民を講師として派遣しました。

ア 国際理解講座の開催

世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深めるため、関係団体の協力を得て国際理解講座を開催した。

(ア) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～

外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学ぶ料理講座をオンライン(Zoom)で開催した。

① 台湾編

期 日：令和3年9月11日(土)

対 象：一般

内 容：台湾出身の方を講師に招き、家庭で作ることができる台湾料理の調理方法を中心に、台湾の文化や習慣を紹介した。(魯^ル肉^{ロー}飯^{ファン}～肉そぼろかけご飯～/涼^リ拌^イ小^ン黄^ン瓜^グ～鼎^{ディ}泰^ン豊^{タイ}風^{フォン}キュウリの浅漬^{シャ}～/地^{ディ}瓜^グ球^チ～さつまいもボール～)

講 師：岸部 文子(台湾出身)

受講者数：29人

② タイ編

期 日：令和4年3月13日(日)

対 象：一般

内 容：タイ出身の方を講師に招き、家庭で作ることができるタイ料理の調理方法を中心に、文化や習慣を紹介した。(ヤムウンセン～タイ風春雨サラダ～/カオマンガイ～タイ風鶏の炊き込みごはん～/カノムバービン～タイ風パンケーキ～)

講 師：ジュイジョンラック・スナンター(タイ出身)

受講者数：15人

(イ) 親と子の国際講座(水戸ユネスコ協会青年部と共催)(中止)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

(ウ) 世界とつながる子ども教室

多くの子どもたちに早期英語学習の機会を提供するとともに、語学学習だけではなく、コミュニケーションツールとしての英語に親しむことを目的とした講座を実施した。

① 子どものための国際教育講座 ～母の日編～

期 日：令和3年5月8日(土) ※時間帯を分けて同じ内容で2回実施

対 象：小学生(1～3学年)と保護者

内 容：「母の日」をテーマとした工作等の活動を通して、英語に慣れ親しんだ。

講 師：サム・エイリー(アメリカ出身・水戸市英語指導助手)

受講者数：午前の部 26人(子ども13人, 保護者13人)

午後の部 30人(子ども15人, 保護者15人)

合計 56人(子ども28人, 保護者28人)

② 子どものための国際教育講座 ～サンクスギビング編～

期 日：令和3年11月6日(土) ※時間帯を分けて同じ内容で2回実施

対 象：小学生(1～3学年)と保護者

内 容：「サンクスギビング(感謝祭)」をテーマとした工作等の活動や映像鑑賞を通して、英語に慣れ親しんだ。

講 師：サム・エイリー (アメリカ出身・水戸市英語指導助手)

受講者数：午前の部 30人 (子ども15人, 保護者15人)

午後の部 28人 (子ども14人, 保護者14人)

合計 58人 (子ども29人, 保護者29人)

③ 子どものための国際教育講座 ～バレンタイン編～ (中止)

新型コロナウイルス感染症に係る「まん延防止等重点措置」の発令により、中止とした。

(エ) ワールドキッズセミナー

海外事情に精通している講師を招き、各国の文化について日本語で紹介することで、多くの子どもたちに国際理解への知識を深める機会を提供する講座を開催した。

① ブルキナファソ編

期 日：令和3年10月23日(土)

対 象：小学生(1～6学年)と保護者

内 容：ブルキナファソの子どもたちの生活や学校の違いなどについて学び、日本の日常との比較学習を通して、異文化理解を深めた。

講 師：新井 江梨子 (JICA 茨城デスク国際協力推進員)

受講者数：17人 (子ども9人, 保護者8人)

(オ) 世界の文化講座

各分野の専門家や各国事情に造詣の深い人物を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の見どころ等を通じて、国際理解を深めることを目的とした講座を実施した。

① 世界の歩き方講座～マダガスカル編～

期 日：令和3年8月1日(日)

対 象：一般

内 容：マダガスカルに焦点を当て、歴史や文化、自然や見どころ等を紹介した。

実施形態：会場参加及びオンライン(Zoom)参加の同時開催

講 師：スアハニチャ・ジェシカ・ラスアナイヴ（茨城キリスト教学園中学校・
高等学校英語教諭）

受講者数：46人（会場26人，オンライン20人）

② 世界の歩き方講座～カナダ東部編～

期 日：令和3年11月20日（土）

対 象：一般

内 容：小説「赤毛のアン」の誕生地で有名なプリンスエドワード島を含む
カナダ東部に焦点を当て、講師自身の撮影した写真を使い、島の歴史
や文化、美しい自然や見どころ、島民の心豊かな生活等を紹介し
た。

講 師：吉村 和敏（写真家）

受講者数：29人

③ なるほど！世界セミナー「フランス語圏のマンガ文化“バンド・デシネ”を知ろう」

期 日：令和3年11月7日（日）

対 象：一般

内 容：フランス語圏独自のマンガ文化である「バンド・デシネ」に焦点を
当て、海外のマンガ文化について理解を深めた。

講 師：猪俣 紀子（茨城大学人文社会科学部准教授）

受講者数：11人

④ なるほど！世界セミナー「中国語は楽しい～華語から世界を眺める～」（延期）

新型コロナウイルス感染症に係る「まん延防止等重点措置」の発令により、延
期とした。

（カ）ことばのひびきを楽しもう！

本を通じて、年齢や言語にこだわることなく本の持つ世界観を一緒に共有するこ
とで、異文化理解・国際交流に親しむ機会を提供することを目的として実施した。

① 世界のことばでよみきかせ ～英語×日本語の巻～

期 日：令和3年7月4日（日） ※時間帯を分けて同じ内容で2回実施

対 象：一般（子どもから大人まで）

内 容：英語と日本語による絵本の読み聞かせでは、外国語の音の響きを楽し
むとともに、手遊びうたを通じて、異文化に親しんだ。

[絵本] すてきな三人ぐみ / きんぎょがにげた /

だいすき ぎゅっ ぎゅっ / くらいのかなか（そんなに）

こわくない

読み手：[英語] 平野 ソリータ（フィリピン出身）

[日本語] 当協会職員

参加者数：第1部 15人（子ども4人，大人11人）

第2部 13人（子ども5人，大人8人）

② 世界のことばでよみきかせ ～フランス語×日本語の巻～

期 日：令和3年12月18日（土）※時間帯を分けて同じ内容で2回実施

対 象：一般（子どもから大人まで）

内 容：フランス語と日本語による絵本の読み聞かせでは，外国語の音の響きを楽しむとともに，手遊びうた通じて，異文化に親しんだ。

[絵本] はらぺこあおむし / はくぶつかんのよる

リサとサンタクロース / まるまるまるのほん

読み手：[フランス語] ナタリー・ジロー（フランス出身）

[日本語] 当協会職員

参加者数：第1部 13人（子ども4人，大人9人）

第2部 13人（子ども5人，大人8人）

③ 世界のことばでよみきかせ ～英語×日本語の巻～

期 日：令和4年3月20日（日）※時間帯を分けて同じ内容で2回実施

対 象：一般（子どもから大人まで）

内 容：英語と日本語による絵本の読み聞かせでは，外国語の音の響きを楽しむとともに，手遊びうた通じて，異文化に親しんだ。

[絵本] フレデリック / コッケモーモー / あかくてあおいクレヨ

ンのはなし / なつみはなんにでもなれる

読み手：[英語] レベッカ・キンバリー・ビール（アメリカ出身）

[日本語] 当協会職員

参加者数：第1部 13人（子ども3人，大人10人）

第2部 13人（子ども2人，大人11人）

イ 国際交流パーティーの開催（中止）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，中止とした。

ウ 国際理解のための外国人紹介

国際理解推進のため，市内の学校や公的機関等が，国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。

紹介数：1件（高校1件）

紹介者数：2人

(4) 外国人市民に対する支援

外国人市民や留学生に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、相互理解を深めました。

ア 子どものための日本語ボランティア

日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、水戸市国際交流センターにおいて毎週日曜日に日本語を指導した。また、団体が行う定例会等の活動を支援した。

(ア) 子どものための日本語教室

期 間：令和3年5月16日～令和3年11月28日(毎週日曜日及び補習日)

対象児童・生徒数：4人

ボランティア数：2人

(イ) 定例会

期 日：令和3年5月13日(木)

内 容：指導を必要とする児童・生徒の把握、教室運営について、意見・情報交換等

イ 多文化共生のための日本語教育等支援事業

日本語ボランティア人材育成及び日本語支援に関する意識醸成のため、日本語教育及び多文化共生に関する講座を実施するとともに、日本語が全くできない学習者のための日本語教室を実施した。

(ア) 多文化共生社会及び地域日本語教育推進のための講座

一般市民の日本語教育に関する知識やコミュニケーションスキルの周知啓発を通じて、多文化共生社会及び地域日本語教育への理解を深めることを目的とする講座を開催した。

① 多文化共生理解講座「教育現場のためのやさしい日本語研修」

期 日：令和3年11月19日(金)

対 象：市内の未就学児施設(保育所等)、小学校、中学校、高等学校で、外国籍児童・生徒を担当する保育士、教員等

内 容：教育現場で必要なやさしい日本語に焦点を当て、日本語を母語としない外国籍の子どもたちとその保護者にとってわかりやすい「やさしい日本語」でのコミュニケーション方法を紹介し、より円滑に情報を伝えるためのポイントや工夫の仕方等を学んだ。

実施形態：会場参加及びオンライン(Zoom)参加の同時開催

講 師：内田 ちひろ(地域日本語教育コーディネーター、茨城県日本語教育アドバイザー)

受講者数：18人(会場16人、オンライン2人)

② 外国人市民対応職員研修（延期）

水戸市職員を対象に、日本語を母語としない外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」でのコミュニケーション方法、さらには、情報を円滑に伝えるためのポイントや工夫を学ぶ研修を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期となった。

主 催：水戸市文化交流課

共 催：公益財団法人水戸市国際交流協会

（イ）日本語プレ初級クラス

日本語が全くできない学習者を対象に、資格を持つ講師の指導の下、日本で生活するために必要な日本語を学べる日本語教室を実施した。

① 第1期

期 日：令和3年5月12日(水)～6月10日(木)（全10回）

講師/コーディネーター：4人

受講者数：2人

② 第2期

期 日：令和4年1月19日(水)～3月2日(木)（全12回）

講師/コーディネーター：4人

受講者数：4人

ウ 外国人市民からの聞き取り

外国人市民の増加・多様化が進む中、地域における多文化共生の促進を図ることを目的とし、今後の外国人市民支援事業の企画・立案に意見を反映させるため、調査を実施した。

内 容：子育て世代を中心として、外国人市民が抱えている問題やニーズを把握するため、市内の未就学児施設(保育所等)・小学校の保育士や教員等の視点から、外国人親子が抱える諸問題について調査した。

調査方法：アンケート調査

調査期間：令和3年9月17日(金)～10月31日(日)

協 力：水戸市幼児教育課，水戸市総合教育研究所

回 答 数：70件（幼保51件，小学校19件）

エ 外国人のための防災対策事業

地震等の災害が発生した際、外国人が文化や習慣，言葉の違いから大きな被害を受けしてしまうことを防ぐため，防災意識の啓発や防災対策事業を行った。

(ア) 防災訓練

火災、地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火訓練を行った。

① 6月期

期 日：令和3年6月9日(水)

参加者数：12人(外国人1人、館内利用者1人、協会役職員10人)

② 12月期

期 日：令和3年12月15日(水)

参加者数：30人(外国人8人、館内利用者6人、ボランティア4人、協会役職員10人)

(イ) 防災講座（みと男女平等参画を考える会、水戸市防災・危機管理課と共催）

東日本大震災の教訓を生かし、市民団体や水戸市と協力し、外国人市民に様々な防災対策事業を行った。

① 防災講座（水戸市国際交流センター）

期 日：令和3年5月20日(金)

共 催：みと男女平等参画を考える会、水戸市防災・危機管理課

協 力：日本赤十字語学奉仕団

内 容：避難訓練・シェイクアウト訓練を行うとともに、災害時等にビニール袋を使って手軽に調理することができる「パッキング」等について学んだ。

受講者数：8人(うち外国人3人)

② 防災講座（茨城大学国際交流会館）

期 日：令和3年10月27日(水)

共 催：茨城大学国際交流課、みと男女平等参画を考える会、水戸市防災・危機管理課

内 容：茨城大学の留学生を対象に、日本で生活する上での基本的な防災情報を提供した。

受講者数：5人(うち外国人5人)

(ウ) 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供

英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震等に対する防災マニュアルの頒布を行った。(水戸市英文地図に掲載)

オ 外国人のための生活情報紙(Culture Pot MITO)の発行

水戸市に住む外国人市民に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、季刊の生活情報紙を発行した。

発行言語：やさしい日本語版（ルビ付）・英語版

発行時期	内 容
2021年 夏号 (8月発行)	日本語表現(LINEで使う言葉)、イベント情報、豆知識、児童手当・健康保険等の生活情報、コロナ関連特集、水の事故に気をつけよう、いろいろニッポン(夏のお菓子) 等
2021年 秋号 (9月発行)	日本語表現(ワクチン接種)、イベント情報、豆知識、生活情報、水害、いろいろニッポン(秋を楽しもう)、保育園・幼稚園、日本語教室情報、年末年始のゴミ捨て・病院 等
2021年 冬号 (11月発行)	日本語表現(家族・親戚)、イベント情報、豆知識、生活情報、水戸の景観30選、いろいろニッポン(お正月の準備)、日本語教室情報、年末年始のゴミ捨て・病院 等
2022年 春号 (2月発行)	日本語表現(花粉症)、イベント情報、豆知識(これ何に使うの?)、バスに乗ろう、自動車税、在留手続、日本語教室情報、新しいゴミの捨て方、いろいろニッポン(弁当) 等

カ 多言語生活ガイド(リビング・インフォメーション)の提供

外国人市民の日常生活の利便性を高め、より快適で安全な生活を送ってもらうことを目的として、水戸市で生活する上で必要な情報を集約し、冊子やホームページ上の電子書籍として提供した。

形 式：冊子及び電子書籍

言 語：やさしい日本語(ルビ付)、英語、中国語、韓国語

キ どようサロンの開催

(ア) どようサロン

国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の情勢や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月2回程度開催する「どようサロン」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(イ) どようサロン ～Armchair Travel～

ゲストスピーカーを招いて、自国の文化等についての紹介を通して異文化理解を深めてもらうとともに、外国人市民と地域住民との交流や市民同士が情報交換することで相互理解を深める場を設けた。

期 日	参加人数	テーマ	ゲストスピーカー
令和3年5月29日(土)	15人	インドネシア編	イマイ・ヘンドラ・カルティワ
9月4日(土)	13人	台湾編	田川 莉紗, 岸部 文子, 葉 美慧
令和4年3月26日(土)	17人	ネパール編	アディカリ・プロヴァット
合 計	45人		

※台湾編については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催とした。

ク 外国人のための日本文化体験事業の実施

(ア) 外国人のための市内ウォッチング

① 保和苑であじさい鑑賞 ※ガストロノミー・イン・みと「梅酒・梅シロップ作り」と同時開催

期 日：令和3年6月5日(土)

対 象：外国人市民及び日本人市民

内 容：保和苑において、見頃を迎えたあじさいを鑑賞し、日本の梅雨の季節感や水戸の魅力を楽しんだ。

訪 問 先：保和苑

参加者数：21人(うち外国人10人)

② 水戸市公設地方卸売市場見学ツアー

期 日：令和3年12月10日(金)

対 象：外国人市民及び日本人市民

内 容：市場内部の様子を見学したほか、卸売市場と食の流通の仕組みについて理解を深めた。

訪 問 先：水戸市公設地方卸売市場

参加者数：15人(うち外国人5人)

(イ) 市内ウォッチング&日本文化体験

外国人市民のための水戸の魅力発見ツアー

期 日：令和3年12月5日(日)

対 象：外国人市民及び日本人市民

内 容：市内の施設を見学するとともに、お正月飾り作りや餅つき等の体験を通して、日本文化に親しみ、水戸の魅力を知ってもらう機会とした。

訪 問 先：水戸市植物公園, イオンモール水戸内原, 水戸森林公園

協 力：水戸ハーブ友の会

参加者数：17人(うち外国人8人)

(ウ) ガストロノミー・イン・みと

外国人市民に対し、日本の食文化や水戸特有の食材を通して、水戸の文化や歴史、魅力等をホームページ上で発信するとともに、特集記事で取り上げた食材等を題材とした体験事業を実施した。

① 梅酒・梅シロップ作り ※市内ウォッチング「保和苑であじさい鑑賞」と同時開催

期 日：令和3年6月5日(土)

対 象：外国人市民及び日本人市民

内 容：「梅」を題材とし、家庭で作れる「梅酒・梅シロップ」の作り方を体験し、梅の魅力をさらに深掘りした。

講 師：皆藤 茂樹（明利酒類株式会社技術部長）

協 力：明利酒類株式会社

参加者数：21人(うち外国人10人)

② 梅染め体験

開 催 日：令和4年1月22日(土)

対 象：外国人市民及び日本人市民

内 容：「梅染め」の実習を通して、水戸の「梅」の文化や歴史に触れたほか、参加者間の交流を楽しんだ。

講 師：林 和男（水戸ユネスコ協会会長）

協 力：水戸ユネスコ協会

参加者数：7人(うち外国人3人)

ケ 英文地図の提供

英語で表記された水戸市の地図（MITO CITY GUIDE MAP）を頒布した。

コ メール配信による情報の提供

メール配信を希望する外国人市民に対して、市内及び近隣市町村で行われるイベントや生活情報等、役に立つ最新情報を提供した。

配信言語：やさしい日本語、英語

対 象：外国人市民(配信希望者)

内 容：日本語教室のお知らせ、当協会実施の国際交流イベント情報(梅酒・梅シロップづくり、市内ウォッチング、水戸の魅力発見ツアー、梅染め体験)、一般イベント情報(「水戸の桜まつり」)、生活情報(オンライン無料法律相談会、ワクチン接種情報ほか)

配信回数：10回

サ 相談窓口の常設

国籍等を問わず、生活様式や習慣等の違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。

内 容：運転免許証の取得・書き換えに関すること，行政手続に関すること，住宅に関すること，在留資格に関すること，国内外における投資・会社経営に関すること，労使間のトラブルに関すること，医療・社会保障制度に関すること，就職・アルバイト，日本語学習，ボランティア活動，翻訳に関すること 等

相談者数：305人(うち外国人251人)

相談件数：305件(電話・電子メール相談253件，来館相談52件)

(5) 国際交流に関する情報・資料の収集及び提供

外国や日本の文化，国際交流等に関する図書，資料等を広く集め，市民や外国人に提供し，また機関紙及びホームページ等により，情報の発信に努めました。

ア 協会機関紙等による情報発信

(ア) 協会機関紙の発行

① 日本語版：3回発行(5月，12月，3月：各1,500部作成)

市内公共施設，姉妹都市関係者及び寄付者等を中心に送付

発行時期	内 容
5月(70号)	令和3年度の事業計画
12月(71号)	オンラインでつながる！新しい国際交流のかたち，水戸市<英語>教育の今，水戸市・重慶市友好交流都市提携20周年記念展，協会グッズ，事業報告，行事予定 等
3月(72号)	外国人市民のとともに暮らすために～協会の外国人市民支援～，日本語プレ初級クラス，外国人市民のためのイベント，事業報告 等

② 3か国語版(英語・中国語・韓国語)：年1回発行(5月：1,000部作成)

外国人市民等に配布

発行時期	内 容
5月(19号)	令和3年度の事業計画

(イ) 広報資料の頒布

情報発信の一環として、協会作成のクリアファイル、エコバッグ、英文地図といった広報用資料を頒布した。

イ 図書・資料等の収集及び提供

日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し、提供した。

ウ パソコン等の利用・提供

情報コーナーにパソコンを設置し貸出したほか、公衆無線 LAN (Wi-Fi) を来館者に提供した。

パソコン利用：135 件（うち外国人 76 件）

エ ホームページ等による情報提供

(ア) ホームページ等での情報発信

当協会ホームページにおいて最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。また、ソーシャルネットワーク(Facebook)において、当協会主催のイベント情報や国際交流を問わない一般のイベント情報のほか、生活情報等を随時掲載した。

ホームページ訪問数：17,531 件

(イ) LINE での情報発信

国内外で広く利用されるメッセージアプリである LINE を利用した情報提供のため、協会アカウントの開設準備を行った。

オ 水戸市国際交流センターPR カードの作成

当センターや当協会の情報をカードにコンパクトにまとめ、誰でも気軽に利用できる施設としての認知度をさらに高めることを目的とし、市民に広く配布するための PR カードを作成した。

規 格：名刺サイズ(両面フルカラー)

発行部数：3,000 枚

(6) 国際交流基金等の造成

市民から寄付をいただき、基金の造成に努めました。

ア 一般寄付

1 件 50,000 円

(7) 水戸市・重慶市友好交流都市提携 20 周年記念事業の開催

中華人民共和国重慶市との友好交流都市提携 20 周年を記念して、両市の交流を一層深め

るための事業を行いました。

ア 水戸市・重慶市友好交流都市提携 20 周年記念展

期 間：[第 1 期] 令和 3 年 12 月 1 日(水)～12 月 13 日(月)

[第 2 期] 令和 4 年 1 月 8 日(土)～ 1 月 30 日(日)

場 所：[第 1 期] 水戸市役所 1 階 多目的スペース

[第 2 期] 水戸市国際交流センター 2 階 国際交流展示室

内 容：1985 年の孫平化氏来水から、現在に至るまでの水戸市と重慶市の交流の歴史を振り返るとともに、近年、経済の中心として発展を続け、また観光地としても存在を増しつつある重慶市の魅力を紹介した。

(8) 水戸市国際交流センターの管理及び運営の受託

水戸市から国際交流センターの管理及び運営を委託され、市民から親しまれる施設として管理運営に努めました。

ア センターの管理及び運営

(ア) センターの利用状況

区 分	件 数	人 数
国際交流関係	1,100 件	12,168 人
一 般	181 件	2,439 人
そ の 他	4 件	104 人
合 計	1,285 件	14,711 人 (うち外国人数 3,179 人)

開館日数：292 日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次のとおり対応した。

①各施設の利用人数の上限を定員の半数に制限した。

②令和 3 年 4 月 23 日～5 月 26 日、8 月 6 日～9 月 30 日

夜間の施設貸出を停止し、窓口及び相談業務のみ対応した。

③令和 4 年 1 月 27 日～2 月 20 日

平日夜間及び土日・祝日全日の施設貸出を停止し、相談窓口のみ対応した。

(イ) センターの管理運営

① 施設利用受付及び貸出し業務

研修室等の貸出し、使用料の徴収、貸出し備品の管理等の業務を行い、利用者に快適なサービスを提供した。

② 施設利用促進業務

ホームページによる情報提供を行い、効率的・効果的な利用促進を図った。また、来館する外国人に対応するため、語学に堪能な職員を配置し、それぞれのニーズに応えられるよう努めた。

③ 図書コーナーの管理業務

外国に関する情報、外国語の図書、日本語教育に関する教材、外国語新聞、ビデオ等の国際交流に関するさまざまな情報の収集及び適切な管理を行うとともに、来館者への閲覧及び貸出し業務を行った。

④ MITO インターナショナルライブラリーの管理業務

MITO インターナショナルライブラリーの蔵書登録及び貸出の業務を行ったほか、施設の周知を図るとともに、必要に応じて来館者への案内業務を行うなど、同施設の利用促進に努めた。

⑤ 施設・設備の維持管理及び補修業務

国際交流センターの施設及び設備を総合的に管理し、効果的な管理運営を図るとともに、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び修繕を行った。

◇ 施設環境衛生管理業務

施設的美観を維持し、センターの利用者に対し快適な空間を提供するため、下記の業務を行った。

- | | |
|------------|---------------------|
| ・ 日常清掃業務 | 休館日を除く毎日 |
| ・ 定期清掃業務 | 年 2 回 <6 月, 12 月> |
| ・ 害虫防除業務 | 年 1 回 <2 月> ※ 調理室のみ |
| ・ 排水設備清掃業務 | 年 1 回 <2 月> |
| ・ 植物管理業務 | 月 1 回 |

◇ 設備保守点検業務

来館者が安全で快適に利用できるよう関係法令や保安規定等に基づき、またはそれに準じて点検・清掃・測定・検査等を実施した。

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| ・ 空調及び給水設備保守点検業務 | 年 2 回 <6 月, 12 月> |
| ・ 飲料水水質検査 | 年 1 回 <3 月> |
| ・ 消防設備保守点検業務 | 年 2 回 <6 月, 12 月> |
| ・ エレベーター設備保守点検業務 | 年 4 回 <4 月, 7 月, 10 月, 1 月> |
| ・ エレベーター設備遠隔監視業務 | 毎日 |
| ・ 自動ドア保守点検業務 | 年 3 回 <7 月, 11 月, 3 月> |
| ・ 自家用電気工作物保安管理業務 | 隔月 1 回, 年次点検<10 月> |

◇ 施設警備業務

施設での盗難、火災その他侵入者の不法行為等による事故発生を未然に防止するとともに、万一事故が発生した場合には迅速かつ適切な措置により、被害を最小限にとどめるよう、勤務時間内については職員が館内及び敷地内を定期的に見回り、夜間及び休館日については、警備会社による機械警備及び巡回警備を行った。

(ウ) 施設整備(修繕等)への対応

① シンク排水管の修繕(調理室)

排水管に亀裂が入り、水漏れがしたため、補修を行った。

② エアコン配管の修繕(多目的ホール)

天井の配管から水漏れがしたため、補修を行った。

③ 消防設備(誘導灯及び屋上消火栓補給水槽減水警報用電極保持器)の交換

設備の経年劣化に伴い、館内の誘導灯及び屋上消火栓の部品の交換を行った。

④ 外壁の修繕

降雨時に2階ロビーの床に浸水が見られたため、建物外壁の修繕を行った。

⑤カーテンの付替え(交流サロン、情報コーナー、多目的ホール)

経年劣化のため、カーテンの交換を行った。

(9) その他

ア 公益法人運営関連業務

公益法人関連三法に基づき、次の業務を行った。

(ア) 役員等の変更による行政庁(茨城県)への改変手続及び登記(4月、8月)

(イ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(令和2年度事業報告及び収支決算書)の提出(6月)

(ウ) 行政庁(茨城県)への定期提出書類(令和4年度事業計画及び収支予算書)の提出(3月)

2 組織及び運営状況

(1) 役員等について

ア 評議員体制(令和4年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
評議員	林 和 男	平成 30 年 6 月 15 日
評議員	川 瀬 由紀子	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	谷 萩 紀 行	平成 24 年 6 月 20 日
評議員	西連寺 節 子	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	掛 札 真 俊	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	藤 城 公 子	平成 27 年 6 月 25 日
評議員	上 村 洋 美	平成 23 年 9 月 14 日
評議員	茂 木 好 美	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	小 柴 庄 市	平成 27 年 6 月 25 日
評議員	大 竹 伸 一	令和 元 年 6 月 27 日
評議員	中 庭 忠	令和 元 年 6 月 27 日
評議員	金 成 滋	令和 元 年 6 月 27 日
評議員	小 泉 光 子	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	小 林 浩 一	令和 3 年 6 月 25 日
評議員	池 田 庸 子	令和 2 年 6 月 17 日
評議員	クレイ・バッセンジャー	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	朴 美 貞	平成 23 年 7 月 1 日
評議員	鹿志村 浩 行	令和 元 年 6 月 27 日
評議員	石 寺 真	令和 元 年 6 月 27 日
評議員	沼 田 誠	令和 3 年 6 月 25 日

評議員20名

イ 役員体制(令和4年3月31日現在)

敬称略, 順不同

役名	氏名	就任年月日
理事長(代表理事)	阿部 真也	平成30年5月25日
副理事長(代表理事)	櫻庭 紀久子	平成30年5月25日
常務理事(業務執行理事)	七字 裕二	平成30年4月1日
理事	黒澤 輝子	平成19年4月1日
理事	幡谷 公朗	令和4年3月25日
理事	須田 浩和	令和3年6月25日
理事	福島 辰三	平成27年6月25日
理事	依田 泉	平成21年4月1日
理事	桂 秀明	平成19年4月1日
理事	小田部 卓	平成21年4月1日
理事	田尻 充	平成19年4月1日
理事	秋葉 宗志	平成28年6月16日
理事	志田 晴美	令和2年3月28日
理事	川上 幸一	令和2年6月17日
監事	江嶋 勲由	平成30年6月15日
監事	小田木 義弘	令和元年6月27日

理事14名, 監事2名

ウ 役員等の異動

異動年月日	役名	氏名	備考
令和3年6月25日	理事	幡谷浩史	退任
令和3年6月25日	理事	内藤丈男	退任
令和3年6月25日	理事	須田浩和	就任
令和3年6月25日	評議員	内海稔和	退任
令和3年6月25日	評議員	小林浩一	就任
令和3年6月25日	評議員	三宅陽子	退任
令和3年6月25日	評議員	沼田誠	就任
令和3年7月16日	評議員	川又実千代	退任
令和4年3月25日	理事	幡谷公朗	就任
令和4年3月31日	理事	七字裕二	退任

(2) 議決(報告)事項

ア 評議員会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
令和3年6月25日	報告第1号	令和2年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第1号	令和2年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第2号	公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任
	議案第3号	公益財団法人水戸市国際交流協会評議員の選任
令和4年3月25日	議案第4号	公益財団法人水戸市国際交流協会理事の選任
	報告第2号	令和4年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	報告第3号	令和4年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算
	報告第4号	令和4年度公益財団法人水戸市国際交流協会事務局体制

イ 理事会

議決年月日	議決(報告)番号	件名
令和3年5月28日	議案第1号	令和2年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業報告
	議案第2号	令和2年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支決算
	議案第3号	令和3年度公益財団法人水戸市国際交流協会 定時評議員会の招集
	議案第4号	公益財団法人水戸市国際交流協会職員就業規則の 一部を改正する規則
	議案第5号	公益財団法人水戸市国際交流協会自己啓発等休業規程 の制定
	議案第6号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規則の 一部を改正する規則
	報告第1号	業務執行状況報告
令和3年6月25日	議案第7号	公益財団法人水戸市国際交流協会代表理事の選定
	議案第8号	公益財団法人水戸市国際交流協会業務執行理事の選定
	議案第9号	公益財団法人水戸市国際交流協会嘱託員就業規則の 一部を改正する規則
	議案第10号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規則の 一部を改正する規則
令和4年2月8日 (書面開催)	議案第11号	令和3年度公益財団法人水戸市国際交流協会 臨時評議員会の招集
令和4年3月25日	議案第12号	令和4年度公益財団法人水戸市国際交流協会事業計画
	議案第13号	令和4年度公益財団法人水戸市国際交流協会基金の 取崩
	議案第14号	令和4年度公益財団法人水戸市国際交流協会収支予算
	議案第15号	公益財団法人水戸市国際交流協会臨時職員就業規則の 一部を改正する規則
	議案第16号	公益財団法人水戸市国際交流協会職員就業規則の 一部を改正する規則
	議案第17号	公益財団法人水戸市国際交流協会嘱託員就業規則の 一部を改正する規則
	議案第18号	公益財団法人水戸市国際交流協会特別嘱託員就業規則 の一部を改正する規則
	議案第19号	公益財団法人水戸市国際交流協会育児・介護休業規程 の一部を改正する規程
	議案第20号	公益財団法人水戸市国際交流協会事務局次長の選任
	報告第2号	業務執行状況報告

(3) 庶務事項

ア 法人登記

登記年月日	登記事項	内 容	
令和3年4月1日	理事の退任登記	安 藏 栄	
	理事の就任登記	内 藤 丈 男	
令和3年8月6日	評議員の退任登記	川 又 実千代	内 海 稔 和
		三 宅 陽 子	
	評議員の就任登記	小 林 浩 一	沼 田 誠
	理事の退任登記	幡 谷 浩 史	内 藤 丈 男
	理事の就任登記	須 田 浩 和	